

車両放火！ - 西日本防災システム

2013 09 06

リオデジャネイロ市内では8月末から9月始めにかけて、鉄道のシステム障害や事故による遅延が相次ぎました。これらに対する抗議や不満から、乗客が車両に放火するなどの事件も多発しているようです。

キンチーノ駅とピエダーデ駅間の路線で9月3日午前8時頃、車両の故障に憤慨した乗客らによる暴動が発生したようです。都市鉄道公社の従業員が故障のためエンジェーニョ・デ・デントロ駅のプラットフォームに向かって60m徒歩で進むよう避難誘導指示を出しましたが、乗客の一部が線路上にとどまり車両に放火した疑いがあるようです。この火災によって2人が負傷しており、都市鉄道公社は一部の心無い人間による違法行為で他の乗客に迷惑を掛けたことに遺憾を表明し、警察やリオ州政府と共に慎重に捜査を進める方針を発表したそうです。

翌日の9月4日には、ピラ・イニョミン路線のパラーダ・アンジェリカ駅付近で午前6時頃に列車とトラックの衝突事故が発生しました。原因はトラック運転手の信号無視で、この事故による負傷者などはいなかったようです。同じこの日の午前8時半頃には、ケイマードス駅—セントラル・ド・ブラジル駅間の路線で乗客らが危険な乗降をしたため、列車が緊急停止して全線での遅延が生じたようです。

8月29日にも電気システムの障害により、サンタ・クルス駅—セントラル・ド・ブラジル駅間、ジャペリ駅—セントラル駅間で3列車が運行中止となり、これが原因となり暴動が発生したようです。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 